



代表の中尾夫婦

## 経営概要

- ◆代表者・所在地  
代表取締役 中尾勇一 鹿児島県曾於市大隅町
- ◆設立年  
令和5年11月
- ◆経営規模  
さつまいも 15ha、野菜（白菜 15ha、キャベツ等 11ha）
- ◆従業員数  
役員2名、正社員1名、外国人技能実習生8名
- ◆事業内容  
さつまいもや白菜など露地野菜の生産・販売に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

平成19年に就農し、経営品目を見直しながら、露地野菜を中心に規模拡大を図ってきた。更なる規模拡大を図るためには、経営安定に向けた雇用確保が課題となっていた。

社員等が安心して働く環境作りや、家計と経営を明確に分離した上での経営改善が必要であることから、法人化について、かごしま農業経営・就農支援センターに相談があった。

## 2 支援内容

法人化に向け、税理士による経営診断や法人化に向けたスケジュール管理、行政書士による定款の作成支援、社会保険労務士による就業規則策定や労働環境整備の支援等を行った。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★就業規則の整備を通じて労働条件を明確化し、従業員のモチベーションアップを図り、従業員が定着しやすい環境づくりを実現

### ■労働環境の整備

労働保険等には法人化前から加入していたが、規模拡大に伴う雇用確保が課題であったため、就業規則を作成し、給与体系や労働条件を明確にした。

あわせて、従業員の働きぶりに応じた昇給制度を導入したことで、モチベーションや責任感のアップにつながった。

### ■社員等のスキルアップ支援

農業機械のオペレーターを積極的に任せるなど、業務を通じて早期に能力を高められるように工夫している。

また、研修会への参加を促すとともに、大型機械の免許取得に必要な費用支援等も行っている。

### ■円滑に働ける環境づくり

定期的に従業員との情報交換の場を設けるなど、性別や国籍にとらわれないコミュニケーションづくりを心掛けている。

毎朝、1日の作業計画の確認や農作業安全の注意喚起を行い、作業が円滑にかつ安全に進むよう工夫している。



従業員とのミーティングの様子

### 今後の意気込み

法人化をきっかけに、労働環境の改善に取り組んだ。今後とも、人材の育成・確保を図り、人との繋がりを大切にしながら、さらなる経営発展に向けて取り組んでいきたい。

### 専属スタッフ所感

センターの支援を受け、社員が安心して働ける労働環境を実現することができました。現在、地域の農地を集積し規模拡大を図っており、地域農業を担う経営体として今後のさらなる発展を期待しています。